

始良・伊佐地域青少年育成だより

発行
始良・伊佐地域青少年育成推進協議会
第52号 令和5年11月

〒899-5212始良市加治木町諏訪町12
始良・伊佐地域振興局総務企画課地域振興係
TEL 0995-63-8109 FAX 0995-63-8108
HP 鹿児島県始良・伊佐地域振興局 健康・福祉→検索

始良・伊佐地域青少年育成推進協議会総会と 青少年環境づくり懇談会を開催しました!!

7月5日(水)、始良・伊佐地域振興局の大会議室で県青少年男女共同参画課、管内警察署、教育事務所等に協力をいただき、令和5年度始良・伊佐地域青少年育成推進協議会総会と青少年環境づくり懇談会を開催しました。

教育事務所からは、インターネット利用等や携帯電話利用に関する家庭内ルール設定率について、令和2年度は児童生徒対象、令和3年度は保護者対象で回答された統計データから説明があり、所持率では、回答年度は違うものの、小学校も中学校も高くなっています。家庭内ルールの設定も保護者の回答した年度が高くなっています。保護者も家庭内ルールが必要と感じて決められることには良い方向です。しかし、所持率も上がっていますので、ルールをしっかりと守らせ、危険と隣り合わせだという認識を共有し、子どもも大人も日々変わりつつあるネットトラブルや依存症等に至ることがないように留意してください。

警察署からは、管内の少年非行の状況について報告がありました。「新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、少年の行動も戻りつつあり、併せて『不良行為』における、補導等が増えつつある。」「不良行為に関しては、深夜徘徊が6割を占めている。また、同一人物による補導が多く、補導に慣れてしまっている。」「少年非行の特徴として、自転車盗等の非行の入り口と言われる初発型非行が多く、喫煙や深夜徘徊で補導される少年が多い。」との昨年と同様の報告がありました。

青少年育成コーディネーターの活動報告では、霧島市の鈴吉美絵(すずよし みえ)さんから、自分の仕事(英語講師)や放課後児童クラブとの連携、公益社団法人霧島青年会議所に所属した、現状の課題や悩み等の報告がありました。

始良市の鹿子木 巧(かこき たくみ)さんからは、重富校区コミュニティ協議会での実践例や課題、悩み等の報告がありました。(詳細は「青少年育成コーディネーターが行く」で掲載してあります。)

当方からは、令和4年8月から11月にかけて実施した有害図書等に関する立入調査の状況を報告しました。コンビニでの有害図書の有無や管理状況、刃物販売店での販売に関する表示や年齢確認等について販売側に確認をとりました。また、無人有害図書等設置場所へは設置場所を所管する警察署員及び県青少年男女共同参画課の三者で確認するとともに、自販機設置業者への条例遵守指導について共通理解を図りました。



○ 令和6年度「第46回少年の主張鹿児島県大会」へ向けて！

標記大会は毎年、6月上旬には応募締切となることから、年度初めの取組みとしては、期限内の応募が困難です。そこで、一年間を通して、いろいろな機会に作品の基となる作文を蓄え、年度初めの応募内容とすりあわせて作品を仕上げてください。

★ 作文の内容等詳しいことについては担当の先生に聞いてください。

ご高覧の皆様、自分の周りの中学生に応募するように是非声かけをお願いします。
提出期限・提出先は、各中学校へ聞いてください。



令和5年度 夏の「郷土に学び・育む青少年運動」 各市町での取組！！



霧島市福山地区を中心に活動している「中・高校生クラブひまわり」の活動を紹介します。7月15日、8月5日、17日に会員相互の親睦を図ることと地元を知る活動を行いました。この活動では、コミュニケーション能力・問題解決能力を養うこと、地元福山町の活性化に寄与できることを目指す目標で行いました。

主な内容は①霧島市出前講座「福山の歴史を知ろう」、②地区子ども会おすすめ事業「寺子屋」運営ボランティア、③レクレーション「フラワーリース作り」などを行いました。現在、会員は4人です。会員募集を行っています。興味や関心のある人、一緒に活動しませんか。

また、これからの活動計画は、地域の行事や新年の「成人式」のボランティアを行う計画です。



湧水町には、五つの小学校と二つの中学校があります。町内の中学校の生徒（生徒会役員等）が、一堂に会し、さまざまな交流を通して互いに学び合い、ふれあいを深めると同時に、交流会を一部企画運営して、その経験を次代の町を担うリーダーへの資質とするものです。

交流活動Ⅰでは、自校の学校紹介をパワーポイントで発表を聞き、互いの表現力や説得力の学習につなげています。その後、グループ毎に分かれて、学校で使用しているタブレットで、丸池湧水周辺を写真撮影した。交流活動Ⅱでは、撮影した写真でフォトコンテストを実施しました。



同じ町内の学校でも、交流の機会が少ないので、お互いの存在を含めた良い機会となりました。

【夏の運動期間中における各市町の主な取組】

市町名	主 な 取 組
霧島市	○まきぞの子ども大会 ○青少年ふるさと美化活動 ○中・高校生クラブ
伊佐市	○子ども会によるラジオ体操 ○ふるさと学寮 ○リバーフェスタ ○軽スポーツ大会 ○樹木調べ ○英語絵本読み聞かせ ○校区防犯大会 ○ミニバレー大会
始良市	○子ども学習・生活支援事業 ○竹水鉄砲体験（地域ぐるみの青少年育成） ○地元で起きた加治木空襲（体験談傍聴）
湧水町	○ふれあい体操 ○青少年ふるさと美化活動 ○チャレンジャー湧水っ子in南大隅 ○中学生交流大会

春の「郷土に学び育む青少年運動」！！ 令和6年度

来る3月11日（月）から4月10日（水）までが春の「郷土に学び・育む青少年運動」の実施期間となります。各市町教育委員会や青少年育成市町民会議等の計画で、色々な活動等が展開されます。関係者の皆様や団体のお力添え、御協力をよろしくお願いします！

コンビニ・スーパー・玩具店等に立入調査

鹿児島県青少年保護育成条例に基づき、8月に当地域振興局管内のコンビニ、スーパー（ホームセンター・量販店など含む。）、カラオケ店、リサイクルショップ、金物店、玩具店等を中心に立入調査を実施しました。

実施対象商品として、成人雑誌、包丁、刃物類の販売状況、青少年の入店時間・出店時間等についての確認やステッカー（青少年への販売防止）の表示状況等の確認を行いました。概ね、適切に処置されていましたが、一部の店舗では、雑誌類に青少年が立ち読みできる状態であったので、「安易に覗き見できないよう紐等で結ぶ」ことや、「販売の際には年齢等の確認」などをお願いしたところ



です。また、刃物類の販売では、売り場でのステッカーの表示のお願いとレジ担当者への購入の際の注意点の確認について協力を依頼しました。

青少年の犯罪未然防止の一環として行政と販売店との共通理解、共通実践を行う機会としたところです。御協力・御理解ありがとうございました。

令和5年度 ～全国地域安全運動～（始良・伊佐版） 犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間

鹿児島県と鹿児島県警は「鹿児島県犯罪のない安全で安心なまちづくり県民会議」で10月11日～10月20日までを旬間として、県内各地で広報活動等を実施しました。今回は「防犯意識の醸成と環境づくりによる犯罪被害の防止」「うそ電話詐欺被害の防止」「子どもと女性の犯罪被害の防止」を中心に、スーパー店頭で地元警察署員、防犯組合の方々の協力をいただき、防犯を呼びかけるチラシ等を配布する活動を行いました。

「鍵かけ・見守り・環境づくり」運動を推進しようとして「外出する際や自転車を離れる際は、確実に鍵（二重ロック）等」を呼びかけています。「万引きをしない、させない」運動を推進しましょう。また、うそ電話詐欺被害にあわないためには、具体的な手口やその対応策などを知り、家族や知人にも周知し、お互いに声を掛け合しましょう。地域での見守り活動の推進では「自分たちの地域は自分たちで守る」という気運を高め、防犯の視点を持って見守りを行う「ながら見守り」で子どもや女性を守りましょう。女性を犯罪（性犯罪やDV・ストーカーの被害等）から守る活動を推進しましょう。



曾木校区コミュニティ協議会 ～ニュースポーツ体験～

曾木校区コミュニティ協議会では、第二土曜日の午後を体験活動の日として行っています。10月14日 曾木小学校体育館で「ニュースポーツ体験」と称し、スカットボール大会をしました。ボールをスティックで打って得点穴に入れるゲームですが、穴に特殊なカーブがついてあるので狙ったところに入りそうで入らないこともあり、競技者も見ている人もハラハラドキドキ、笑いが出るゲームで、体育館の中が歓声や声援でとても賑やかでした。

4年梨木さんは「スカットボールってどんなのか分からなかったけど、やってみたらすごく楽しかった。またやりたい。次はパーフェクトをねらう」と話してくれました。

11月には校庭で行う「ペットボトルロケット大会」を計画しています。現在までの取組の中には、カヌー体験をプールで行い、また、PTAと合同で「どろんこ祭り」や「夜の学校体験」など、いろいろ工夫しながら取り組んでいます。(協議会)



地域行事「小浜夏祭り」に参加 ～計画から販売そして活用～

小浜小学校では、地域の夏祭りに「子どもブース」を設けて物品販売を行いました。仕入れの数や値段設定、商品の梱包や広告作成など、PTAの協力を得ながら自分たちで行っています。得られた収益の使い方についても子どもたちが考え、遠足代の補助や学校図書購入に使うなど、保護者と連携を図りながら、体験活動を通じた金銭教育を実践しています。

活動に参加した6年生の堀之内良香さんは、「自分たちの頑張りが地域の人たちにも認められてうれしい」、「自分たちで努力したお金で遠足などを楽しめてよかった」と自分たちの活動が楽しい学校生活に活かされたことを喜んでいました。白田校長先生は、「自分たちで課題を見つけ、解決する、体験的な活動を通して、子どもたちと大人たちがともに楽しみながら学び合う機会になったら嬉しい」と話されました。(小浜小学校)



北山校区コミュニティ協議会

～体験活動で青少年育成推進～

北山校区コミュニティ協議会では、様々な体験活動をととして小学校の授業やイベントに協力し、青少年の健全育成を推進しています。今年度も、「筍掘り」「玉ねぎ収穫」「川遊び」「田植え」「竹水鉄砲作り」「栗拾い」「稲刈り」「ふれあい昔遊び」「ふれあいグラウンドゴルフ」など、様々な活動で小学生たちとふれあいました。

9月に実施した栗拾いでは、1・2年生の子どもたちが学校近くの栗林で栗拾い体験を楽しみました。1年生の中には初めて栗を拾う子どもたちもあり、いが栗を見つけては駆け寄り、うれしそうに拾っていました。

今年度の後半も、「田んぼDEゴルフ」や「北山師走の祭典」「北山さくら祭り」など、楽しいイベントを計画しています。北山の豊かな自然を生かした体験活動を通してこれからも青少年育成を推進していきます。(協議会)



中津川地区の伝統継承

～棒踊りの体験活動から～

湧水町の上場棒踊りはその昔、地元の方が子どもたちに民俗芸能の素晴らしさを伝えたいとの思いから、心得のある方に学び、上中津川独自の要素を加えて完成した踊りです。踊りは、4尺棒2人、6尺棒2人の4人1組で勇壮華麗に踊ります。昨今、担い手不足等から、存続が危ぶまれていましたが、地域住民の御理解のもと、中津川地区全体で受け継いでいくこととなりました。小学生2人、中学生、高校生の次代の担い手の積極的な参加により8年ぶりの披露となりました。

令和4年度は、鹿児島刑務所員や吉松小学校6年生2人と学校職員も参加しました。9月から毎週1回、コミュニティセンターで1、2時間程度練習し、11月の町秋まつりにおいて、町民の皆様にご披露することができました。また、12月には、地域の秋葉神社への棒踊りの奉納も行いました。伝統芸能が継承されるよう、今後も継続して取り組んでいきたいです。(吉松小学校：教頭)



青少年育成コーディネーターが行く !!

管内において、現在9人の青少年育成コーディネーターが委嘱され、日々積極的な活動を展開されています。本年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、活動が以前より取り組みやすくなりました。まだまだ気の緩む状況ではありませんが、本地域のコーディネーターさんには、本当に頭の下がる思いです。今回は、その中からお二人の活動を紹介します。

◆霧島市青少年育成コーディネーターの鈴吉美絵（すずよし みえ）さんを紹介します。

鈴吉さんは、放課後児童支援員、英語教室講師として、放課後児童クラブ、英語教室（自営）、幼稚園・保育園などで活躍されています。

今の課題・悩みを伺ったところ「この地域の課題や悩みは、まだ、よく分からない状況です。逆に青少年が何か問題にぶつかった時や、親にも言えない、学校にも相談できないとなった時に、またそういう青少年の保護者の方などが悩みなどを言える、一人で悩まない、同じ悩みを共有できる場の提供ができれば」と現在のお気持ちを話してくださいました。

放課後児童クラブくまさんハウスでは「だがし屋みんなで堂」を運営し、子どもたちに、仕入れから移動販売まで役割を持たせ、青少年育成に大きく関わっておられます。



◆始良市青少年育成コーディネーターの鹿子木 巧（かこき たくみ）さんを紹介します

鹿子木さんは重富校区コミュニティー協議会で青少年育成推進員として、子どもたちにいろいろな体験活動を企画し、実践されてこられました。特に「けんのひら塾」夏休み特別企画として、7/24から8/28までの間、15講座（授業）を計画し、校長先生、教頭先生と有志の先生、地域の職人さん等の協力をいただき、大人たちによるスペシャル授業を実践されています。

現在の課題・悩みについて伺いますと「特にありませんが、強いて言えば、今後（中長期的）の地域活動の後継者について大丈夫か気になります。この問題を解決するために、けんのひら塾は地域活動の後継者育成を並行しながら活動を進めています。10年後、20年後に向け組織形成を『ピラミッド型からアメーバー型へ』移行してネットワークで地域活動が運営できるよう、試行錯誤している」と伺いました。本当に頭の下がる思いです。



毎月19日は、「食育の日」「育児の日」です。
みんなで食の大切さを理解し、栄養バランスを考え
た食事に努めましょう。また、子育てをしやすい環
境作りに力を入れ、子育てを応援しましょう。